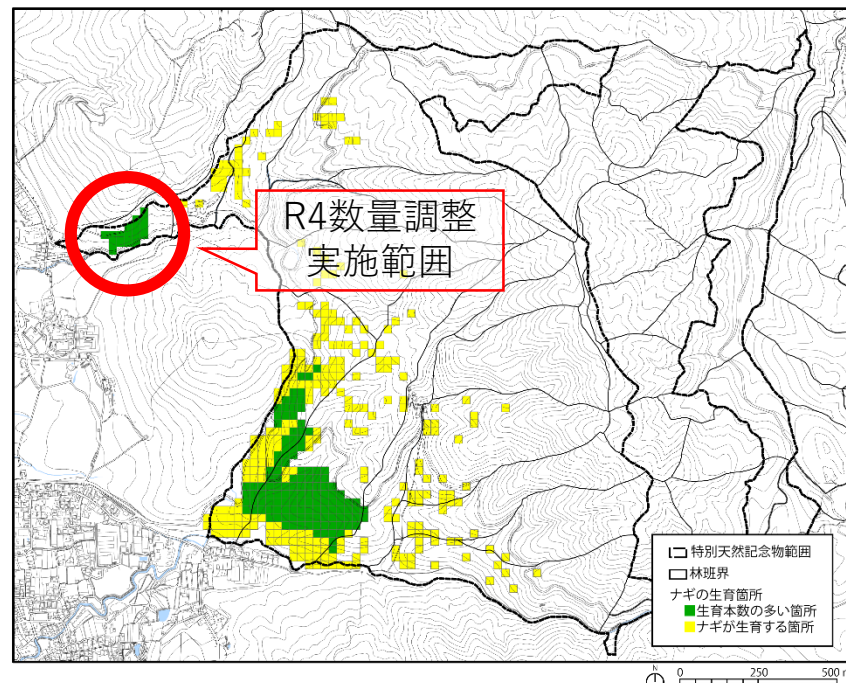


●検討の目的

- 春日山原始林内に分布する常緑針葉樹のナギについて、拡大を抑制するための試験的な数量調整の実施方策を検討する

●数量調整の実施

- 令和4年度より着手（予定）
- 対象区域
文献調査、専門家へのヒアリングをふまえ、「ナギの密生するエリア」を対象とする
（令和4年度…約1 ha内）
- 実施対象
樹高2 m以上、胸高直径30 cm未満の成木



林内におけるナギの分布（H27調査）
（緑：ナギが密生するエリア）



ナギ密生エリア内の様子

●実施手順

- ① 現況調査：数量調整実施対象の標識（テープ、ラッカー等）
- ② 数量調整：ナギの幹の伐採、枝払い、吊り切り作業の実施
※安全面・景観面に配慮し、急傾斜地に位置するものや高木・大木のナギ（雄木を基本）は維持
- ③ 植生保護柵の設置：数量調整実施区域の約50%（0.5 ha程度）に設置
- ④ モニタリング調査：林床植生の出現状況、ナギの状況の把握
※植生保護柵内、柵外対照区で調査を実施

